

平成27年9月八戸市議会定例会一般質問事項(教育委員会事務局分)

(9月7日、8日 2日間)

○9月7日(月)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
きずなクラブ 三浦 博司	1 第6次総合計画における人づくり戦略について	(2) 教育プロジェクトについて	教育指導課	1
公明党 中村 益則	2 教育行政について	(1) 総合教育会議における首長と教育長の役割について	教育総務課	3
		(2) いじめ問題等に対する危機管理体制について	教育指導課	4
		(3) 地域住民の民意をどのように反映させていくのかについて	教育総務課	5
		(4) 小中学校の学校図書の充足と現状について	教育指導課	6
		(5) 学校図書館の司書配置について	教育指導課	7
	4 選挙について	(2) 主権者教育の取り組みについて	教育指導課	8
公明党 夏坂 修	4 教育行政について	(1) 全国学力テストの結果について	教育指導課	9
		(2) 小中一貫教育の制度化について	学校教育課	10
		(3) 学校給食残渣の堆肥化について	学校教育課	11
無所属 伊藤 圓子	3 公民館・生活館について	(1) トイレの洋式化について	福祉政策課 社会教育課	13
		(2) 老朽化施設の整備計画について	社会教育課	14
	4 本のまち八戸について	(1) 市立図書館の資料購入費について	図書館	15
		(2) 雑誌スポンサー制度について	図書館	16

平成27年9月八戸市議会定例会一般質問事項(教育委員会事務局分)

(9月7日、8日 2日間)

○9月8日(火)

会派・議員名	発言事項	発言の要旨	担当課	頁
自由民主・市民クラブ 岡田 英	3 教育行政について	(1) 教材備品について		
		ア 予算の推移について	教育総務課	17
		イ 整備の基準について	教育総務課	18
		(2) 学校図書館について		
		ア 小中学校の運営状況について	教育指導課	19
		イ 学校司書について	教育指導課	20
		(3) 校務支援システム導入について		
		ア 教員の多忙化と現状について	総合教育センター	21
		イ システムの概要について	総合教育センター	22
		ウ 期待される効果について	総合教育センター	23
日本共産党議員団 苫米地 あつ子	3 教育行政について	(1) 平和教育の取り組みについて	教育指導課	25
		(2) 青少年の相談窓口について	教育指導課	26
		(3) マイブック推進事業について	教育指導課	27
		(4) 通学路の除排雪について	教育指導課	28
きずなクラブ 石橋 充志	1 国際交流について	蘭州市との交流について	市民連携課 教育指導課	29
	2 教育行政について	(1) 学校図書館の整備状況について	教育指導課	30
		(2) 読書活動状況と読書環境づくりについて	教育指導課	31
		(3) 情報モラルについて	教育指導課	32
		(4) いじめへの対応について	教育指導課	33

質問者(議員名)	三浦 博司 議員
発言事項	1 第6次総合計画における人づくり戦略について
発言の要旨	(2) 教育プロジェクトについて
質問内容	地域密着型教育推進校実施率をプロジェクト指標とした理由を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 本事業は、平成20年度に「八戸版コミュニティースクール」として立ち上げ、平成25年度に市内全小・中学校が推進校になり実施率が100%になった。</p> <p>○ 本事業では、子どもたちの「確かな学び」と「豊かな育ち」のために、地域学校連携協議会を設置して保護者・地域住民の意見を学校経営に反映させ、学校・保護者・地域住民等の協働による「開かれた学校づくり」を進めている。</p> <p>○ プロジェクト指標として実施率100%としているのは、議員ご案内のように、今後も引き続き市内全小・中学校で本事業を継続しながら、これまでの取組をもとに、取組内容の一層充実を図っていくためのものである。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	今後の地域密着型教育推進事業の方向性について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 本事業については、これまでの積み重ねにより、地域ボランティアによる安全活動や学習支援活動の充実、図書室をはじめとする教育環境の整備等が成果として挙げられている。</p> <p>○ また、地域と学校を結ぶコーディネーターの後継者やボランティアの不足、地域行事との関わりなどの課題も見えてきた。</p> <p>○ 今後は、本事業を通じて、学校教育の質の向上を図り、児童生徒のふるさとへの誇りと愛着を育み、活力あるまちづくりに貢献できるよう、これまでの成果をいかし、さらなる改善を図りながら取組内容の一層の充実に努めていく。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 6次計画の指標として実施率100%を継続するだけでなく、これからも地域密着型教育の内容の充実を図っていくようにお願いしたい。

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 総合教育会議における首長と教育長の役割について
質問内容	総合教育会議における首長と教育長の役割について伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 総合教育会議は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正により、今年度、新たに設置したものである。 ○ 会議は、市長と、教育長をはじめとする教育委員をメンバーとし、市長が招集するものである。 ○ この会議の中で、調整・合意した方針の下に、それぞれが所管する事務を執行するものとされている。 ○ 市長は予算の編成・執行などの権限を有しており、教育長は教育に関する専門的な事務を担当する教育委員会を統括する役割を担っている。 ○ これまでも双方が連携して教育行政を運営してきたが、総合教育会議という場ができたことにより、これまで以上に円滑な意思疎通が可能になり、また市長が教育行政に果たす責任や役割が明確になると考えている。
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」により、教育の政治的中立性、継続性・安定性を確保しつつ、教育行政における責任の明確化、迅速な危機管理体制の構築、首長との連携の強化を図るとされている。 ○ 「夢はぐくむ ふれあいの教育 八戸」という素晴らしい教育大綱を策定したのだから、それに則って施策を推進していただきたい。

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) いじめ問題等に対する危機管理体制について
質問内容	学校や市教育委員会におけるいじめ問題への対応と、いじめの対策について市長とどのように連携していくのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 昨今、全国的にいじめが原因と思われる痛ましい事案が発生し、いじめに対する危機意識が高まっている。 ○ 各学校では「学校いじめ防止基本方針」を策定し、いじめの未然防止に向けた校内体制を整備したところである。 ○ さらには地域密着型教育を通じて児童生徒をいじめから守る体制づくりも進めている。 ○ 各学校では、いじめアンケート等を実施し、児童生徒の変化に気づき、迅速に対応できる体制づくりにも努めている。 ○ 市教育委員会では「相談窓口の設置」や「いじめの問題等に関する対話集会」の開催等、各学校を支援するための取組を進めている。 ○ さらに、現在「八戸市いじめ防止基本方針」を策定中であり、防止対策協議会や第三者委員会の年度内設置を市長部局と協議している。 ○ 今後、市長が設ける総合教育会議にも、いじめ未然防止の取組と現状について報告することとしている。 ○ 市教委教育委員会としては「いのちの教育」を基盤として自尊感情の高揚及び、相手を思いやる心を育む学校教育の充実に一層努めていく。
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 相談体制の充実（相談手段や相談窓口の多様化）

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(3) 地域住民の民意をどのように反映させていくのかについて
質問内容	総合教育会議において地域住民の民意をどう反映させていくのか市長の考えを伺いたい。
答弁者	<input checked="" type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ これまでも市政を推進する中で、さまざまな機会を通じて市民の意見を伺い、教育行政においても教育委員会と連携しながら、施策に反映してきた。</p> <p>○ 今後も、今回の法改正の趣旨を踏まえながらも、引き続き求められている教育の政治的中立性、継続性、安定性の確保を図りながら、教育委員会の独立性を尊重した上で、総合教育会議での議論を通して、市長事務部局と教育委員会が協議・調整し、より民意を反映した教育行政を推進していく。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○ 地域住民の意見を聞くとともに、場合によっては識者の意見を聴取することができる。とされている。</p> <p>○ 実情に即して施策を実施していただきたい。</p>

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(4) 小中学校の学校図書の充足と現状について
質問内容	当市の学校図書の充足と現状及び今後の取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 文部科学省では、学級数に応じて学校図書館に備えるべき蔵書冊数を「図書標準」として示している。</p> <p>○ 同省が平成 26 年度に実施した「学校図書館の現状に関する調査」では、図書標準を達成している学校数は、市内小学校・中学校ともに全国平均を下回っており、十分に充足しているとは言えない現状にある。</p> <p>○ そのような状況ではあるが、各学校では配分された予算を計画的に執行し、児童生徒のニーズに合わせた図書の購入を進めている。</p> <p>○ また、本市独自の学校図書館ネットワークシステムを活用した学校間相互の本の貸し借りや、総合教育センター内に設置している大型絵本等の貸出など、児童生徒のニーズに合わせ、自由に本を借りることができる体制も整備してきたところである。</p> <p>○ 学校図書館が「読書センター」並びに「学習・情報センター」としての機能を果たすためには、図書標準の達成を図るとともに、児童生徒が読みたくなるような本の提示や、ゆとりをもった並べ方など、配架の工夫も必要である。</p> <p>○ 市教育委員会としては、各学校の実態に合わせて、計画的な図書購入により充足率を高めるとともに、魅力ある図書館づくりを進めるよう支援していきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 施設や環境整備等様々な配慮が必要であり、また、ネットワークを活用しているとのことだが、今後も安定した冊数を揃えられるよう、毎年安定した財源確保がなされるようお願いしたい。

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(5) 学校図書館の司書配置について
質問内容	学校図書館に司書を配置することについて、教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 学校司書は、本年4月1日に施行された改正学校図書館法において、司書教諭と連携しながら、学校図書館の機能向上の役割を担う上で、配置されることの重要性が明文化された。</p> <p>○ 学校司書とは、学校図書館の運営の改善と向上を図り、児童生徒及び教員による学校図書館の利用を一層促進するために、専属で配置されるものであるが、当市では未配置となっている。</p> <p>○ 現在、市内小・中学校には、司書教諭が配置されているが、学校図書館司書として専属で配置されているものではなく、学級担任等と兼任している。</p> <p>○ このことから、地域密着型教育により図書ボランティアを導入する学校も増え、創意工夫を重ねながら、魅力ある学校図書館運営が進められている。</p> <p>○ 学校司書を配置することにより、各学校の図書館運営は、より児童生徒や教員のニーズを踏まえたものになると考える。</p> <p>○ さらに、司書教諭の負担が軽減されるとともに、図書ボランティアの活躍の場が広がることも期待される。</p> <p>○ 市教育委員会としては、学校司書の配置は、「本のまち 八戸」構想を担う人材を育む上でも、有効であると考えている。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 難しい点は多いと思うが、体制を整えるための今後の対応に期待したい。

質問者(議員名)	中村 益則 議員
発言事項	4 選挙について
発言の要旨	(2) 主権者教育の取り組みについて
質問内容	主権者教育について、市内の小・中学校の取組状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 若年層の投票率低下に伴う政治離れが懸念される中、学校教育において「国や社会の問題を自分の問題と捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者」を育てていくことは重要であると認識している。</p> <p>○ 小学校学習指導要領には、第6学年の社会科の中で、選挙は代表者を選出する大切な仕組みであることを理解させ、選挙権を正しく行使することの大切さを考えさせることが示されている。</p> <p>○ 中学校学習指導要領においても、社会科の公民的分野の中で、選挙は議会制民主主義を支えるものであることを理解させ、良識ある主権者として主体的に政治に参加することの意義を考えさせることが示されている。</p> <p>○ 各小・中学校におきましては、学習指導要領の趣旨を踏まえ、社会科の授業を中心に主権者教育に取り組んでいる。また、議場の見学や市議会の傍聴など政治的関心を高める教育活動を導入したり、選挙管理委員会事務局と連携を図りながら、選挙出前講座を実施したりしている学校もある。</p> <p>○ 市教育委員会としては、国や社会の課題解決を主体的に担う児童生徒の育成を図る主権者教育が充実するよう、引き続き学校訪問等で指導助言して行く。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 主権者教育を推進している党员(公明党)として、主権者意識をどう育てていけばよいのか、共に考えて行きたい。

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(1) 全国学力テストの結果について
質問内容	全国学力テストの結果についての教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本年4月21日に行われた全国学力・学習状況調査は、平成19年度から導入され、9年目を迎える。 ○ 小学校6年生、中学校3年生が対象で、国語、算数・数学に新たに理科を加えた3教科において、主に知識に関する「A問題」と、主に活用に関する「B問題」の出題内容で実施。 ○ その結果、小学校の正答率は国語・算数の「A問題」「B問題」、及び理科において、全国平均及び県平均を上回っている。 ○ 中学校の正答率は、国語・数学の「A問題」及び理科において、全国平均及び県平均を上回っているが、国語の「B問題」は、県平均と同程度で全国平均を下回り、数学の「B問題」は県平均を上回ったものの全国平均を下回っている。 ○ 全国及び県と同様に、当市も「B問題」が低い傾向。 ○ 特に、資料を活用して自分の考えを表現する問題や理由を明確にして説明する問題が低い。 ○ 今回の調査では、小学校が良好な結果となった一方、中学校では課題が見られる結果となった。 ○ しかしながら、全国的には「無解答」の割合の高さが課題となる中、当市は「無解答」の割合が低く、児童生徒の意欲面では良好な傾向である。 ○ 市教委としては、各学校と十分に連携を図りながら課題の把握に努めるとともに、改善に向けた取組がより効果的に推進されるよう支援に努めていく。
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全国学力・実態調査で全国上位である秋田県では、家庭や地域との連携に力を入れているそうである。青森県は、地域の行事参加している児童生徒の割合が、全国平均と比べて低いという調査結果が出ている。今後、家庭や地域との連携をより一層推進していくことを要望する。

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(2) 小中一貫教育の制度化について
質問内容	小中一貫教育を実施する「義務教育学校」を制度化する法律が成立したことを踏まえ、当市では今後どのような取組を進めていくのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 先般、学校教育法等の一部を改正する法律が成立し、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校の種類として規定されたところである。</p> <p>○ 「小中一貫教育」は、小学校から中学校への9年間を通した教育課程を編成し、系統的な教育を進めることにより、小中の円滑な接続を目指すものである。</p> <p>○ 先行して取組を進めてきた自治体からは、児童生徒の学力や規範意識の向上、さらには、中学生の不登校の減少にもつながっているとの報告がある。</p> <p>○ また、教職員の児童生徒理解や指導方法の改善にもつながったとの成果も報告されている。</p> <p>○ 一方では、教員の定数や教員免許状に制限があること、9年間を見通した教育課程の編成には十分な研究が必要になること、固定された人間関係が続くことなどの課題も指摘されている。</p> <p>○ 当市においては、平成18年度から「小・中学校ジョイントスクール推進事業」を全小・中学校において導入し、小中連携教育を進めることで、中1ギャップの解消や児童生徒の学びと成長・発達の連続性を保証するという面で成果を上げている。</p> <p>○ 市教育委員会としては、今後も引き続き国の動向や他市町村の取組を注視するとともに、「小中一貫教育」導入における効果と課題をさらに詳細に分析し、地域の実情や特色を踏まえ、どのような方向性が適正であるか検討していく。</p>
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	夏坂 修 議員
発言事項	4 教育行政について
発言の要旨	(3) 学校給食残渣の堆肥化について
質問内容	学校給食残渣の堆肥化の検討状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当市では、平成 25 年 3 月に策定した「第 2 次環境基本計画」の中で、「人と自然が共生する持続可能な都市」を掲げ、資源の再生利用等を促進しているところである。 ○ 市教育委員会としても、目指すべき環境像を踏まえ、これまで焼却処分している給食残渣等の堆肥化について、検討を進めてきところである。 ○ 堆肥化を導入した場合、現行の焼却処分よりも多額の経費がかかることなどが課題である。 ○ 給食残渣等の有効活用については、将来を担う児童生徒が、廃棄物も貴重な資源になり得ることを学ぶ「環境教育」の観点からも、大変重要であると考えている。 ○ 議員から御指摘のあった昨年 6 月議会以降も、市内小中学校の菜園保有状況の調査や、他都市の先進事例の視察など、その有用性について検証を進めてきた。 ○ 今後も引き続き、学校と緊密な連携を図り、学校での堆肥活用の早期実現を目指していきたいと考えている。
担当課	学校教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 経費面等課題があることは理解しているが、環境教育の重要性から今後も前向きに検討していただきたい。

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	3 公民館・生活館について
発言の要旨	(1) トイレの洋式化について
質問内容	トイレの洋式化の現状と今後の改修の見通しについて伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 奈良岡副市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○ 公民館については、1階トイレの一部洋式化については順次工事を進め平成9年までに完了し、2階へのトイレの設置は平成14年度から21年度までの8ヵ年で全館完了している。 ○ 今後は利用者の声を伺いながら必要な改修を進めていく。
担当課	福祉政策課、社会教育課



◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 公民館、生活館について全てのトイレについて洋式化をお願いしたい。また、できれば温水洗浄便座の設置をお願いしたい。

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	3 公民館・生活館について
発言の要旨	(2) 老朽化施設の整備計画について
質問内容	老朽化が進む公民館の今後の整備計画について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 耐震診断の結果、「震度6強以上で倒壊・崩壊の危険性が高い、または危険性がある」と診断結果の出た館・江陽・是川・根城の4館について建替え工事を進めている。</p> <p>○ また、老朽化の著しい施設については順次、改修工事を行っている。</p> <p>○ 今後の整備計画について、4館の建替え工事完成の見通しが立った段階で、施設の耐用年数や老朽化の度合い等を勘案しながら検討したいと考えている。</p>
担当課	社会教育課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 本のまち八戸の推進について
発言の要旨	(1) 市立図書館の資料購入費について
質問内容	市立図書館の資料購入費の推移について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 全国の資料購入費の状況について、日本図書館協会の公表資料によると、全国の公共図書館の資料購入費決算額は、平成4年度に300億円を超え、平成9年度に369億円まで増加したものの、その後減少に転じ、平成25年度には285億円まで減少している。</p> <p>○ 一方、市立図書館本館の資料購入費決算額は、平成5年度には2,305万円だったものが、平成10年度には2,000万円を割り込むまで減少したものの、26年度の決算額は2,150万円となり、ほぼ現状維持で推移している。</p> <p>○ 限られた資料購入費の中で、質の高い資料収集に努めながら、定期的な除籍も行い、利用者にとって魅力ある図書館にしていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	伊藤 圓子 議員
発言事項	4 本のまち八戸について
発言の要旨	(2) 雑誌スポンサー制度について
質問内容	雑誌スポンサー制度の現在の取組状況について伺いたい。また、制度を更に拡充するための今後の取組について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 雑誌スポンサー制度は、事業者が雑誌の購入代金を負担してもらう代わりに、雑誌コーナーに配架する雑誌の最新号のカバーに事業者名と広告を表示するものである。</p> <p>○ 図書館では、平成 24 年度から実施しており、実績は 24 年度が 2 事業者 4 誌、25 年度及び 26 年度は 1 事業者 1 誌、27 年度は 1 事業者 2 誌であり、利用する事業者が少ないのが現状である。</p> <p>○ この制度は、市にとっては雑誌購入のための財源確保ができ、事業者にとっては安価な広告媒体として活用できる利点があるが、費用対効果が分かりにくいいため、スポンサー契約の継続が難しいなどの課題も生じている。</p> <p>○ 今後は、他都市の取組状況も参考にして、図書館利用者に向けて表紙カバーを工夫したり、雑誌コーナーに制度の内容を掲示したりするなど、周知を図っていく。</p> <p>○ また、園芸なら花屋、リフォームなら建設業など、雑誌の内容に関する事業者に絞って PR し、一層の利用拡充に努めていく。</p>
担当課	図書館

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 教材備品について ア 予算の推移について
質問内容	教材備品購入費の予算の推移について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 教材備品購入費は、各学校において授業等で使用する教材備品の購入に係る予算で、平成 27 年度の予算額は小学校で約 2,900 万円、中学校で約 2,100 万円、合計約 5,000 万円である。</p> <p>○ 近年、児童生徒数や学級数は減少してきており、平成 27 年度の児童生徒数は平成 23 年度と比較して約 10%の減、学級数は約 4%の減となっている。</p> <p>○ このような中、教材備品購入費に関しては、急激な予算の減少により、各学校の教材備品整備に支障をきたさないよう、同規模の予算を措置してきた。</p> <p>○ 今後も児童生徒数の減少が見込まれるが、より一層の教育環境充実のため、学校の要望を把握しながら、適正な教材備品購入費の確保に努めて参りたい。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 国において平成 24 年度から平成 33 年度までの 10 年間、単年度で小学校約 500 億円、中学校約 260 億円の地方交付税措置をしていることから、更なる予算計上への配慮をお願いしたい。

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 教材備品について イ 整備の基準について
質問内容	教材備品の整備基準の有無について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input checked="" type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 教材備品の整備にあたっては、文部科学省が、平成 23 年に「教材整備指針」を策定し、教科ごとの整備基準を示している。</p> <p>○ 市教育委員会では、この整備指針に基づき、平成 24 年に「八戸市学校備品分類表」の中で、学級数や児童生徒数に応じた整備の目安を定め、各学校へ周知している。</p> <p>○ 各学校では、新規に必要な備品のほか、既存の備品の更新など、毎年、多くの教材備品が必要となるが、学校備品分類表の目安を参考にするとともに、学校の実情に合わせ、必要性や緊急性、使用頻度、各教科のバランス等を勘案しながら、毎年度、購入計画をたて、効率的な整備に努めている。</p>
担当課	教育総務課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 平成 23 年度には文部科学省から「理科教育設備基準」も示されているため、それも整備の目安とし、全国共通で平等な教育を受けてもらいたい。

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) 学校図書館について ア 小中学校の運営状況について
質問内容	市内小・中学校の学校図書館の運営状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 当市の学校図書館の蔵書の充足率は、全国平均には及ばないが、年々向上してきている。</p> <p>○ また、児童生徒のニーズにきめ細かに対応するため、これまで学校図書館ネットワークシステムを活用した学校間相互の本の貸し借りや、総合教育センター内に設置している学校図書館支援図書等の貸出など、子どもたちが読みたい本・読んでみたい本を自由に選び、借りることができる支援体制も整備してきたところである。</p> <p>○ このような状況の中、各学校からは、学校図書館の運営にあたって学校司書等の人的配置を要望する声が年々大きくなってきている。</p> <p>○ 学校図書館の運営に関わる業務は、図書の貸出はもとより、購入・廃棄計画を含めた蔵書管理、貸出名簿の更新、さらには、読み聞かせの企画、児童生徒の読書意欲を喚起するための校内体制の整備など、多岐にわたる。</p> <p>○ 現在、学校図書館法により、12学級以上の小・中学校には、司書教諭の資格をもつ教員が配置されている。</p> <p>○ しかし、これらの司書教諭は、学校図書館司書として専属に配置されているものではなく、学級担任や教科担任等を兼任し、放課後の部活動の指導に携わる教員もいる。</p> <p>○ 司書教諭だけで学校図書館の運営を担うことは厳しい状況にあることから、各学校では、保護者や地域から図書ボランティアを募り、司書教諭と連携を図りながら学校図書館運営にあたっている。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 学校図書館充実のために、確実な予算措置をお願いしたい。

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) 学校図書館について イ 学校司書について
質問内容	小・中学校における司書教諭の配置状況と、今後の学校司書の配置について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 今年度、司書教諭は、市内小学校 33 校・中学校 20 校にそれぞれ配置されているが、学級担任等との兼任により、学校図書館運営にあてる時間を十分に確保できない状況にある。</p> <p>○ 当市では、平成 13 年度から 18 年度まで、文部科学省より学校図書館資源共有型モデル事業等の指定を受け、学校図書館支援員を配置し、司書教諭と連携した取組を試行した経緯がある。児童生徒及び学校からは「より親しみやすい学校図書館となった」「本について知る機会が増えた」「読書に対する関心が高まった」「児童生徒にとって魅力ある学校図書館づくりにつながった」などの成果が報告されている。</p> <p>○ 現在は、図書館支援員に代わって、地域密着型教育の一環として、図書ボランティアを導入する学校が増えてきている。図書ボランティアによる支援は、学校図書館運営上有効だが、時間的制約があるため、十分な時間を確保できないなどの課題もある。</p> <p>○ 提案のあった学校司書については、本年 4 月 1 日に施行された改正学校図書館法において、配置の必要性が明文化された。</p> <p>○ 当市では、「本のまち八戸」構想を掲げ、「ブックスタート事業」や「マイブック推進事業」等、子どもたちが本に親しむ環境づくりに取り組んでいるところである。</p> <p>○ 市教育委員会としては、学校司書を配置することにより、司書教諭等と連携しながらより魅力ある学校図書館づくりが実現でき、ひいては子どもたちの本に親しむ環境がさらに充実されることから、今後、他の自治体の先行事例等を参考にしながら検討していきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	学校司書導入時には、どのような運営形態を考えているのか。例えば、市内全小・中学校全てに配置することを想定しているのか。現段階での教育長の所見を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○ 現時点では、今後、他の自治体の先行事例を参考にしながら、市内小・中学校の実情と重ね合わせ、どのような運営形態が効果的であるのか、まずはモデル校での試行的運用も視野に入れながら検討していきたい。

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 他県では、学校司書配置により貸出数が増えたなどの実績も聞いている。学校司書の配置に向けた努力をしていただきたい

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) 校務支援システム導入について ア 教員の多忙化と現状について
質問内容	教員の多忙化と現状について伺いたい
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 全国的に教員の長時間労働が指摘されており、小・中学校ともに殆どの教員が日常の業務に多忙感を抱いていることが浮き彫りとなっている。</p> <p>○ 本年7月に公表された文部科学省の調査によると、教員の1日の平均在校時間は、小学校で11時間35分、中学校で12時間6分である。</p> <p>○ 平成26年度実施の市内小・中学校対象の勤務実態調査においても、1日の平均在校時間は11時間43分で、全国的な傾向と同様の勤務実態が明らかになった。</p> <p>○ さらには、自宅への仕事の持ち帰りや休日出勤も、教員が多忙感を抱く一因となっている。</p> <p>○ 教員の長時間労働が常態化している要因を見ると、事務的な業務に多くの時間が割かれており、本来、児童生徒としっかりと向き合い、きめ細かな指導・支援にあたるべき時間が十分に確保できていない状況が見られる。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) 校務支援システム導入について イ システムの概要について
質問内容	システムの概要について伺いたい
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 校務支援システムは、教員の学校事務の負担軽減・効率化を図ることで、児童生徒と向き合う時間を確保し、学校教育の質の向上につなげることを目的として、県内で初めて導入するものである。</p> <p>○ 本システムは、これまで教員が手書き、または個々に作成していた各種書類を全てデータ化し、一元管理するものである。</p> <p>○ 具体的には、一度入力したデータが各種名簿作成や成績処理、通知票・指導要録の作成などに自動的に反映されるシステムである。</p> <p>○ また、児童生徒一人一人の出欠状況・健康状態・生徒指導上の情報など、従来はそれぞれ記入・保管されていた諸表簿も一元管理され、必要に応じて全教員が共有できる機能も有している。</p> <p>○ 今後、全教員を対象とした本システムの操作に係る研修会を、複数回開催する。</p> <p>○ 本年9月から来年3月までを試行期間として位置づけ、基礎データの入力及び試験運用を重ねながら課題を洗い出し、平成28年4月の本格運用をめざすこととしている。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	岡田 英 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) 校務支援システム導入について ウ 期待される効果について
質問内容	期待される効果について伺いたい
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 本システムを導入することによって、個々の重複作業が解消されるとともに、点検作業やデータの転記が容易となり、教員一人一人の事務負担が軽減され、これまで以上に児童生徒と向き合う時間が確保できるものと考えている。</p> <p>○ また、児童生徒一人一人の出欠状況・健康状態・生徒指導上の情報等が、全教員で共有でき、不登校やいじめなどの早期発見・早期対応、さらには未然防止にもつながると考える。</p> <p>○ 近年、不登校・いじめ問題や生徒指導上の諸問題など、学校教育においてはさまざまな課題が山積している状況にある。</p> <p>○ また、家庭の教育力低下や子どもの貧困等が全国的に問題視されており、本来は各家庭において解決すべきことも学校に委ねられている現状が一部に見受けられる。</p> <p>○ 市教育委員会としては、本システムの導入によって、教員一人一人が心身ともにゆとりをもって、児童生徒としっかりと向き合うことで、これまで以上に子ども理解・家庭理解に立ったきめ細かな指導・支援が充実できるものと考えている。</p>
担当課	総合教育センター

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	校務支援システムでは、児童生徒の重要な個人情報も扱うことになると思うが、情報漏洩等の対策について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 現在、全教員には、平成 22 年度から校務用コンピュータが貸与されており、使用する全てのデータは教育センターのサーバ内において一元管理されている。</p> <p>○ また、これらをつなぐ回線は、当市単独の通信回線となっており、外部から不正に侵入したり、情報を持ち出したりできないシステムとなっている。</p> <p>○ さらには、サーバ内に保存してあるデータを、教員がコンピュータから外部に持ち出すこともできないシステムとなっている。</p> <p>○ このことから、導入以来 5 年間、情報漏洩等の事故は 1 件も報告されていない。</p> <p>○ しかしながら、近年、世界的にコンピュータウィルスなど、情報セキュリティの根幹を揺るがす事案が多発している状況がある。</p> <p>○ 市教育委員会としては、これらの状況に鑑み、常に危機意識を持ち、引き続き、教員一人一人のセキュリティポリシーの向上を図るとともに、サーバ等のセキュリティ強化にも努めていく。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(1) 平和教育の取り組みについて
質問内容	平和教育の取組状況について伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 戦後 70 年の節目を迎え、戦争を経験していない世代が増えていく中で、平和の大切さを理解し、平和な社会を築く態度を育む平和教育を充実させていくことが重要であると認識している。</p> <p>○ しかしながら、戦争体験を直接聞いたり、戦時下の生活用品等を直接見たりする実感を伴った学習の機会が減少してきているのも事実である。</p> <p>○ このような中、市内小・中学校では、学習指導要領の内容を踏まえ、社会科では写真や映像等の資料を用いて、国語科や道徳の時間においては、戦時下に生きた人々の様子を描いた教材を用いて、戦争の悲惨さを知り、平和を築くことの重要性を学んでいる。</p> <p>○ さらに総合的な学習の時間等において、博物館や図書館を利用し、戦時下の様子を知ったり、体験したりすることで、平和な生活を築くことの大切さに気付かせる学習活動に取り組む学校もある。</p> <p>○ 市教育委員会としては、子どもたちに平和を願う心が着実に受け継がれていくよう、引き続き各学校に働きかけていくとともに、平和教育に関わる資料等の環境整備にも努めて参りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	<p>○ 平成 7 年 6 月 21 日に八戸市平和都市宣言が決議された。</p> <p>○ 八戸市の中・高校生を、広島・長崎へ平和大使としての派遣することを検討していただけないか。</p>

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(2) 青少年の相談窓口について
質問内容	市内各学校における悩みや不安に対する相談員はどのように配置され、どのような対応をしているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 本市では、児童生徒の悩み等の相談体制として、県教育委員会の事業により配置されている「スクールカウンセラー」を活用するとともに、市独自に「心の教室相談員」を配置している。</p> <p>○ 「スクールソーシャルワーカー」が活用できる体制も整備している。</p> <p>○ 現在、スクールカウンセラーは12名配置されており、市内の中学校17校、小学校8校を担当している。</p> <p>○ スクールカウンセラーは、児童生徒のカウンセリングを中心に、いじめ、不登校などの諸問題を未然に防止するための支援を行うとともに、教職員や保護者に対し助言する機能も有している。</p> <p>○ 心の教室相談員は、スクールカウンセラーが配置されていない中学校に配置されており、スクールカウンセラーと同じ役割を果たすとともに、個別の配慮を必要とする生徒への学習支援も行っている。</p> <p>○ スクールソーシャルワーカーは、三八教育事務所に2名配置されており、学校からの要請に応じて、教職員や保護者を支援している。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	スクールソーシャルワーカーの役割や活動内容はどのようなものか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 役割は、様々な問題を抱えている児童生徒の環境改善を図ることである。</p> <p>○ 主な活動内容としては、保護者・教職員に対する相談・情報提供、関係機関との連絡・調整、校内体制構築のための助言等が挙げられる。</p> <p>○ 市教委としては、家庭環境等の問題を抱える生徒への支援や教職員に対する相談のために、スクールソーシャルワーカーの積極的な活用を働きかけている。</p>

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラーの増員配置について県に要望し、相談体制の一層の充実を図るようお願いしたい。

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(3) マイブック推進事業について
質問内容	マイブック推進事業の昨年度の課題を受けて、今年度はどのように改善を図ったのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ マイブック推進事業は、一人当たり 2,000 円分のマイブッククーポンを配付することにより、小学生が保護者とともに書店に出かけ、自ら本を選び購入する体験を通して読書に親しむ環境をつくることを目的として、昨年度から実施した。</p> <p>○ 昨年度のマイブッククーポンの使用率は、約 90%であり、児童及び保護者、参加書店、各学校からは事業の継続を望む声が多く寄せられ、一定の成果が見られた。しかし、クーポンを 1 枚も使用しなかった児童がいたことや、使用方法が徹底されなかったことが課題として見られたため、今年度は事業内容等の周知徹底に努めた。</p> <p>○ 具体的には、児童及び保護者に対しては、早い段階でクーポンの使用期限や使用方法を周知する説明資料を配付した。各学校からは、クーポンの使用を呼びかける掲示物や学校だより等を活用した取組が報告されている。</p> <p>○ さらに、参加書店に対しては、事前説明会を開催し、事業の趣旨等について、改めて共通理解を図った。</p> <p>○ これらの取組によって、昨年度に比べて、クーポンを正しく使用する児童が増えるとともに、6月から7月の2か月間については昨年度より使用率が高くなっている。</p> <p>○ 市教育委員会としては、今後、児童、保護者、学校、参加書店からのアンケートをもとに成果と課題を検証し、本事業の一層の充実につなげていきたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	マイブッククーポンの配付や周知等で、学校現場の負担は重くなっていないか。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○ 市教育委員会としては、図書で紹介や書店への説明など、各学校の負担が増すことがないように、十分配慮して本事業を進めており、各学校では、全校体制で事業実施に協力していることから、現在のところ負担が大きいという声はなく、むしろ、本事業を契機として、本の紹介などの活動に積極的に取り組む様子が報告されている。

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 図書ボランティアや市立図書館等校外の関係機関、さらには学校司書等と連携しながら、教員の多忙化につながらないように配慮してほしい。

質問者(議員名)	苫米地 あつ子 議員
発言事項	3 教育行政について
発言の要旨	(4) 通学路の除排雪について
質問内容	積雪時の通学路の安全確保について、地域からの要望にどのように応えているか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 市教育委員会では、市内小・中学校の通学路の安全確保に向け、学校と連携しながら通学路の実態を把握に努めている。</p> <p>○ 各学校においては、教職員による学区内点検を始めとし、保護者・地域からの情報により通学路の状況を定期的に確認するとともに、通学時には、保護者等による街頭指導によって、児童生徒の通学時の安全確保に努めている。</p> <p>○ 通学路の除排雪については、地域密着型教育を通じ、教職員のみならず、保護者や地域住民も協力して行われている。</p> <p>○ 地域の方が町内会所有の除雪機を活用して歩道や学校敷地内の除雪に当たっている学校もある。</p> <p>○ 学校と地域が一体となって、子どもたちの安全確保に努めている状況がある。</p> <p>○ 市教育委員会としては、地域学校連携協議会等を活用し、子どもたちの安全確保に向けた取組の一層の充実を図って参りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 学校に融雪剤を配布したり、歩道・歩道橋の除排雪管理を市がやるなど、担当を明確にする必要がある。

質問者(議員名)	石橋 充志 議員
発言事項	1 国際交流について
発言の要旨	蘭州市との交流について
質問内容	団長として蘭州市を訪問した教育長から、訪問の感想を伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 蘭州市人民政府への表敬訪問、教育局との協議、各種教育機関の視察等、すべての場で文字通りの「熱烈歓迎」を受けた。</p> <p>○ それらを通して、蘭州の人々の心の温かさとアジアの隣人として親しみを実感するとともに、30 数年の長きにわたる政財界あげでの交流で築かれた両市の確かな信頼と強い絆を肌で感じた訪問であった。</p> <p>○ 今後は、これまでの生徒の交流のみならず、小・中学校の教員の相互派遣等の派遣交流等による両市の教育分野での一層の相互理解と充実を期すべく努力して参りたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	石橋 充志 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(1) 学校図書館の整備状況について
質問内容	当市の小・中学校の学校図書館の蔵書の整備状況は全国レベルにおいてどのような状況であるのか伺いたい。 また、蔵書の管理や更新についても伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	○ 文部科学省が実施した平成 26 年度の「学校図書館の現状に関する調査」によると、本市において、図書標準を達成している学校数は、小学校・中学校ともに全国平均には届いていない。 ○ そのような現状のもと、各学校では配分された予算を有効に活用し、学校の実態に合わせた図書購入に努め、市内全体の蔵書数は年々増加傾向にある。 ○ また、自分の学校にない本については、本市独自の学校図書館ネットワークシステムを活用して他校から本を借りたり、総合教育センターの大型絵本を利用したりするなど、各学校図書館の蔵書を市全体の共有財産ととらえ、蔵書数の不足を補う取組を併せて進めてきたところである。 ○ なお、各学校においては司書教諭が中心となって、図書ボランティアの協力を得ながら蔵書の管理に努めている。更新については、市で統一の基準は定めず、各学校の実情に合わせて行うよう依頼している。
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 全国レベルにまで蔵書数を上げていくべきである。子どもたちには、多くの本と出会い、触れ合ってもらいたい。また、本の鮮度を上げることで、子どもたちが気軽に図書室に足を運ぶようになる。蔵書数を上げることが、大人までつながる読書活動のベースになると考える。

質問者(議員名)	石橋 充志 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(2) 読書活動状況と読書環境づくりについて
質問内容	児童生徒の読書活動状況をどのように捉えているか、そして、現状での読書活動に対する取組について伺いたい。 また、幼少期から大人まで続く読書環境づくりについて教育長としてどのような認識か伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 本年4月に実施した全国学力・学習状況調査の質問紙調査では、当市の児童生徒は、1日あたりの読書時間は、全国平均を上回っているという実態が明らかになっている。</p> <p>○ 当市では、「八戸市子ども読書活動推進計画」において、子どもが読書に親しむ機会の提供、及び、家庭・地域社会・学校等における読書活動の推進に向け、各種の事業を展開してきた。また、新たに、乳児に絵本の楽しさを伝える「ブックスタート事業」、市内各幼稚園や保育園、市立図書館等で行われている幼児への絵本の読み聞かせ、小学生が自ら本を購入する体験を通して読書に親しむ環境をつくる「マイブック推進事業」など、子どもが本に親しむ環境を整備している。</p> <p>○ 私は、子ども時代の読書体験は、言葉に対する感覚と感性を磨き、豊かな人間性の基礎を培うものであり、人生をより味わい深く豊かなものとしていくために、欠くことのできないものであると認識している。</p> <p>○ 幼少期から大人までの読書環境づくりに真正面から取り組むことは、当市が掲げる「本のまち 八戸」構想の実現に必ずや結びつくものと信じている。</p> <p>○ 市教育委員会といたしましては、引き続き学校・家庭・地域社会が一体となり、子どもたちの読書環境づくりの充実に努めたい。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	○ 乳児期から中学校までは読書に対する様々な取組が行われているが、心配なのは高校生から上の世代の読書活動である。一生涯続く読書の在り方について検討してほしい。

質問者(議員名)	石橋 充志 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(3) 情報モラルについて
質問内容	情報モラルについて、教育現場としての今後の関与のあり方と学校・地域・家庭との連携についてどのように考えているのか伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 市内小・中学校では、ネットトラブルを回避する方法など、情報モラル教育を充実し、児童生徒一人一人の規範意識の向上に努めている。</p> <p>○ 近年、通信事業社や警察等から講師を招き、保護者に対するネットトラブル防止のための研修会を開催している学校も増えてきている。</p> <p>○ 昨年度から、「八戸IT・テレマーケティング未来創造協議会」と連携して、ネットトラブルから子どもを守るための啓発事業を開始しており、今年度もその取組を進めている。</p> <p>○ 市中学校校長会では生徒に対し、原則として携帯電話を持たないよう指導しているところだが、携帯電話等の保有率は年々増加傾向にあり、所持を禁止するという指導だけでは、不十分であると受け止めている。</p> <p>○ 市教委としては、小・中学校校長会と連携して、インターネットの安全な利用に関する「提言」を年内に作成し、児童生徒や保護者に対して周知徹底したいと考えている。</p> <p>○ 提言の主な内容として、「通信機器を使用する際、保護者がフィルタリングをかけること」「利用する時間や場所、機器の保管場所などについてルールを決めること」「夜間は通信機器を保護者が預かること」等を提案していく。</p> <p>○ 児童生徒がネット社会を通じたトラブルに巻き込まれないよう、本取組によって情報モラル教育の一層の充実を図っていく。</p>
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	

質問者(議員名)	石橋 充志 議員
発言事項	2 教育行政について
発言の要旨	(4) いじめへの対応について
質問内容	学校や市教育委員会におけるいじめ問題への対応と、いじめの対策について。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	(中村益則議員と同じ 割愛)
担当課	教育指導課

◎再質問

再質問の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
質問内容(概要)	「いのち最優先」についての教育長の思いを伺いたい。
答弁者	<input type="checkbox"/> 市長 <input checked="" type="checkbox"/> 教育長 <input type="checkbox"/> 部長
答弁内容(概要)	<p>○ 将来ある子どもたちの尊い命が失われるという事案が全国各地で起きている。</p> <p>○ なかでも、いじめ問題は自らその命を絶つという痛ましい事案で、子どもの健全育成の中で、真っ先に取り組むべき最重要課題ととらえている。</p> <p>○ 早期発見早期対応、さらには未然防止の啓発活動等は当然だが、学校にあっては教師と児童生徒と、家庭にあっては親と子の確かな信頼関係を築く努力を常日頃から心がけることが子どもの命を救うことにつながるのではないかと。</p> <p>○ あるテレビ番組で、我が子が深夜徘徊していても、子どもとはスマホでつながっているのに心配していないという母親を見て暗澹たる思いがした。</p> <p>○ 親子関係の価値観が多様になってきている一方、多くの大人が、子どもにどのように接すればいいのか戸惑い、指導に腰が引けているような気がしている。</p> <p>○ 特に、心揺れ感う思春期の真っ只中にある中学生などへの接し方は教師にとっても親にとっても難しいのは事実だが、彼らから逃げるわけにはいかない。</p> <p>○ 子どもたちと真正面から向き合い、膝をつき合わせて語る姿勢が子育ての基本であり、子育てには大人としての本気度が問われているのだと痛感している。</p> <p>○ 昨日、三浦議員の答弁で地域密着型教育について、今後は内容面での充実に向けていくと話した一つに、こうした重要課題についても、保護者や地域住民と一緒に考えて、地域の子どもの見守る体制を作ってほしい思いがあった。</p> <p>○ 子どもの安全安心が危惧されている時代だからこそ、これまでどおり学校教育の経営方針の基底に「子どもの命最優先」を据え、誰一人も「加害者にも、被害者にも、傍観者にもしない」という教育の徹底に全力で取り組んでいきたい。</p>

◎要望

要望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
発言内容(概要)	